

2023年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
NWEC実践研究第14号<多様な世代でともに進めるジェンダー平等>	独立行政法人 国立女性教育会館	独立行政法人 国立女性教育会館が編集・発行する研究報告書	2024.2	I	2582	独立行政法人国立女性教育会館
六法全書Ⅱ	編集代表 佐伯仁志 大村敦志	令和3年版	2021.3	M2	2581	有斐閣
六法全書Ⅰ	編集代表 佐伯仁志 大村敦志	令和3年版	2021.3	M2	2580	有斐閣
どうする、日本のジェンダー平等戦略	橋本ヒロ子 // 編 林陽子 // 編 芦田健太郎 // 編	2023年に開催した女性人権機構主催のシンポジウムでの発表と討議を編集、整理。新型コロナウイルス感染症が女性に与えた影響を振り返り、また世界的災禍を克服する国際的な枠組みについても解説する。	2023.11	A1	2579	信山社
親の見守り・介護をラクにする道具・アイデア・考えること	工藤 広伸 // 著	道具を使えば介護はもっとラクになる！ 長年遠距離介護をしてきた著者が、道具を通じて親の自立を引き出しながら元気で長生きしてもらい、介護する子がストレスなく過ごすための工夫を紹介。介護の準備チェックリスト付き。	2023.1	K2	4649	翔泳社
エトセトラ VOL. 9 (2023 SPRING / SUMMER) / 特集 NO MORE 女人禁制！	伊藤 春奈 // 特集編集	毎号、新しい編集長がその時いちばん伝えたいテーマを特集するフェミマガジン。VOL.9は、マイノリティへの差別・排除と深くつながる「女人禁制」の歴史を探りながら、国や家父長制が追い出してきたものはなにかを探る	2023.5	I	4648	エトセトラブックス
フェミニズム / feminism 「女であること」を基点にする	加藤 陽子 // 著 鴻巣 友季子 // 著 上間 陽子 // 著 上野 千鶴子 // 著	女であることの生きづらさ、性暴力、これらと対峙してきたフェミニズムについて、加藤陽子、鴻巣友季子らが名著を通して論じる。Eテレで放送された「100分 de フェミニズム」の内容をもとに取材等を加えて構成。	2023.7	A2	4647	NHK出版
田嶋先生に人生救われた私がフェミニズムを語っていいですか！？ / LET'S DISCUSS FEMINISM!	アルティシア // 著 田嶋 陽子 // 著	フェミニズムとは、誰もが生きやすい未来につながる新しい価値観。再評価がとまらない田嶋陽子と、田嶋のフェミニズムに人生を救われたアルティシアが、日常のなかにあるフェミニズムについて語り合う。	2023.2	A2	4646	KADOKAWA
シモーヌ VOL. 1 / Les Simonees / 特集：シモーヌ・ド・ボーヴォワール	シモーヌ編集部 // 編	雑誌感覚で読めるフェミニズム入門ブック。特集「シモーヌ・ド・ボーヴォワール「女であること」：70年後の〈第二の性〉」のほか、エッセイ、コラムなどを収録する。ヌード写真あり。テキストデータ請求券付き。	2019.11	A2	4645	現代書館
ひとまず上出来	ジェーン・スー // 著	令和の「ニュー中年」の私たち。今までのやり方を整えたり、やめてみたり。心地よいサイズを見つけてみたら、もっと息がしやすくなった！ ジェーン・スーによるエッセイ集。『CREA』連載に書き下ろしを加える。	2021.12	A1	4644	文藝春秋
「自分らしさ」と日本語	中村 桃子 // 著	なぜ小中学生女子は「わたし」ではなく「うち」と言うのか？アイデンティティを表現する材料としてのことばの大切さを示し、ことばでアイデンティティを表現するには制限があること、それにもかかわらず、私たちはことばを工夫して使うことで、何とか表現したいアイデンティティを創造しようとしていることを明らかにする。	2021.5	J3	4643	筑摩書房

## 2023年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
性をはぐくむ親子の対話 この子がおとなになるまでに	野坂 祐子 // 著 浅野 恭子 // 著	子どもとおとなが一緒に性について学び、対話するヒントを紹介。年代ごとの子どもの発達の様相、安全・安心な関係づくりについて解説するとともに、子どもの性や安全に関するおとなの不安や悩みを取り上げる。	2022.12	G3	4642	日本評論社
妾と愛人のフェミニズム 近・現代の一夫一婦の裏面史	石島 亜由美 // 著	妾や愛人とは一体どのような女性なのか。一夫一婦制度が確立した明治期から2010年代までの新聞・雑誌や文学作品を精読。時代ごとに形作られた「囲われる／働く／消費される女性たち」の社会的イメージの変遷を追う。	2023.3	B1	4641	青弓社
ひとりで食べたい わたしの自由のための小さな冒険	野村 麻里 // 著	一合土鍋、新型コロナ時代の献立表、ひとり温泉の愉しみ…。「ひとりで食べることに光を当てるエッセイ集。『孤独のグルメ』など“ひとり食本”も紹介する。『ウェブ平凡』連載を加筆修正し書き下ろしを加えて書籍化。	2023.6	J2	4640	平凡社
男尊女卑依存症社会	斉藤 章佳 // 著	男たちはワーカホリックになるまで働いて、ストレスからアルコールや薬物で気分をあげ、痴漢や盗撮にはまる。女性には報われないケア労働を押し付ける。「依存症」というフィルターを通して、現代日本の病理を斬る。	2023.7	E2	4639	亜紀書房
生き延びるための女性史 遊廓に響く〈声〉をたどって	山家 悠平 // 著	かつて遊廓を生きた女性たちが書いた日記や小説は、時の隔たりをこえて、ふたたび現在に響き始める。歴史家であり小説家である著者が、人びとの歴史の〈声〉を記憶し、描き出す、フェミニズムの思想と実践。	2023.9	B1	4638	青土社
子育ての常識から自由になるレッスン おかあさんのミカタ	高石 恭子 // 著	子育ては楽しい？ いえいえ、そんな単純なものではない！ 「母とはこうあるべき」という思いこみをほぐし、別れを見すえた親子関係を探る。WEBマガジン『せかいしそう』連載に書き下ろしを加えて単行本化。	2021.6	G2	4637	世界思想社
なぜ男女の賃金に格差があるのか 女性の生き方の経済学	クラウディア・ゴールドティン // 著 鹿田 昌美 // 訳	育児をしながら働き続けるときに、女性の前に立ちはだかるものは何なのか。ジェンダー平等が進んできた現在でも残る男女の賃金格差の構造を、歴史と詳細なデータから解き明かす。	2023.4	L1	4636	慶應義塾大学 出版会
「母になること」の社会学 子育てのはじまりはフェミニズムの終わりか	村田 泰子 // 著	「子育ては母親がするもの」という世間の圧力を感じながら保育所に子どもを預ける女性たち。彼女たちは託児実践を通じて、何を受け入れ、挑んでいるのか。母親や保育施設員の聞き取りを通して、フェミニズムの視点から捉える。	2023.3	A2	4635	昭和堂
Eggs 選ばれた私たち	川崎僚 // 監督・脚本	結婚も出産もしなくても、子供ができるとしたらー？ 産まなくても「母になりたい」と願い、彼女たちはこれからも生きていく	2018	D3	2578	アルミード
お一人さま逃亡温泉 身も心も浄化する旅!	加藤亜由子 // 著	贅沢おこもり美容温泉、自分を見失う極上ぬる湯温泉、薬効高い激熱温泉…。仕事で家で、空気と顔色を読む「気疲れ人間」に向けて、心身浄化のためのお一人さま温泉を紹介。お一人さま逃亡温泉の旅の心得なども収録。	2021.7	O1	2577	みらい パブリッシング
両親が元気なうちに“実家じまい”はじめました。	大井あゆみ // 文 二平瑞樹 // 漫画	実家の片づけ問題から、遠距離介護問題、高齢者ドライバー問題、お墓の問題まで、全部解決できちゃった！実家じまいと両親の東京への移住について漫画で綴る。事例だからわかるノウハウが満載。	2020.12	K1	2576	光文社

## 2023年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
マリー・アントワネットは何を食べていたのか ヴェルサイユの食卓と生活	ピエール=イヴ・ボルペール//著 ダコスタ吉村花子//訳	ヴェルサイユに輿入れしたマリー・アントワネットはどのようにして食卓やしきたりに適応したのか。幽閉中、何を食べていたのか。18世紀後半のフランス宮廷の食にまつわる文化を広く知ることができる歴史書。図版も収録。	2019.6	O1	2575	原書房
50歳からのごきげんひとり旅	山脇りこ//著	ひとり旅、私にできるかな？50歳でひとり旅をはじめた料理家が、ひとり旅のはじめ方と楽しみ方を、行き先の決め方、荷作りのコツ、ホテルやレストラン選びのポイントなどのノウハウを交えながら紹介する。	2023.3	O1	2574	大和書房
戦う姫、働く少女	河野真太郎//著	ジブリの少女たちやディズニー・プリンセスは何と戦ったのか。現代社会にひそむ階級や労働の問題点と、ポストフェミニズムを超えた連帯の可能性を、ポップカルチャーをとおして鮮やかに分析する。	2023.9	J3	2573	筑摩書房
「ビジネスと人権」への対応	法務省人権擁護局	今、企業は自社事業に関わる全ての従業員、取引先の従業員、顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することが求められている。企業が取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCGなどによる解説でわかりやすく紹介している。	2022	L2	2572	法務省 人権擁護局
ファッションスタディーズ 私と社会と衣服の関係	蘆田裕史・藤嶋陽子 宮脇千絵//編	多様な視点とアプローチで理論と実践が学べる、新時代のファッションスタディーズ入門。ファッションを読み解く23のキーワードと、さらに深く知るための11の分野のブックガイドを収録。	2022.3	O1	2571	フィルムアート社
フェミニストってわけじゃないけど、どこか感じる違和感について 言葉にならないモヤモヤを1つ1つ「全部」整理してみた	パク ウンジ//著 吉原 育子//訳	「その冗談、私は笑えない」「家事は半々」が難しい…。妻、嫁、女という与えられた枠に沿って生きることに違和感を覚える著者が、日常で感じる小さなモヤモヤを綴る。韓国のフェミニズムのムーブメントなどにも触れる。	2021.4	A1	4634	ダイヤモンド社
お前が決めるな！ 東大で留学生が学ぶ《反=道徳》フェミニズム講義	嶋田 美子//著	ルールはいつもマジョリティのもの。見せかけの権利を与え、シタリ顔の温情を施す。そんなお仕着せの平等は真っ平。〈よい子の婦人運動〉と訣別する、叛逆とアートのフェミニズム講座。留学生に向けた東京大学のゼミを書籍化。	2023.4	A2	4633	白順社
少女マンガのブサイク女子考	トミヤマ ユキコ//著	ライター・少女マンガ研究者の著者が、少女マンガの「ブサイクヒロイン」を読み解く。萩尾望都などの大御所から若手、知る人ぞ知る伝説的作家まで、全26作品を収録。『マンバ通信』連載に加筆修正し書き下ろしと対談を追加。	2020.1	J1	4632	左右社
三つ編み	レティシア・コロバンニ//著 齋藤 可津子//訳	インド、イタリア、カナダ。3大陸の3人の女性。かけ離れた境遇に生きる彼女たちに共通しているのは、女性に押しつけられる困難と差別のために立ち向かっていること…。逆境を生きる女性の連帯を描く物語。	2019.4	J2	4631	早川書房
自民党の女性認識 「イエ中心主義」の政治指向	安藤 優子//著	自民党は長らく、女性を従属的な「わきまえる」存在と見なし、「イエ中心主義」の政治指向を形成してきた。戦後の保守再生の流れの中で、そうした女性認識はいかに形作られ、戦略的に再生産されてきたのかを考察する。	2022.7	M1	4630	明石書店
ジェンダー平等社会の実現へ 「おかしい」から「あたりまえ」に	杉井 静子//著	なぜ夫婦は同姓でなければならないのか？「家」制度から社会の仕組みに内包するジェンダー不平等を明らかにし、日本国憲法を道しるべに、これからのジェンダー平等社会の「あたりまえ」を探る。	2023.2	A2	4629	日本評論社

## 2023年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
時給はいつも最低賃金、これって私のせいですか？国会議員に聞いてみた。	和田 静香 // 著 小川 淳也 // 取材協力	息が詰まるほど不安で苦しい生活が続くのは「私のせい」？ 私の不安は日本の不安！ 国会議員・小川淳也に、相撲・音楽ライターの和田静香が、生きづらさの原因を直接ぶつけた建前なしの政治問答。政治問答ブックリスト付き。	2021.9	L1	4628	左右社
自分も傷つきたくないけど、他人も傷つけないあなたへ	アルティシア // 著	ジェンダーの呪いから解放されれば、自分らしく自由に、他人にも優しく生きられる。ジェンダー感覚をアップデートする秘訣、男女間のジェンダー意識のギャップ解消法などを紹介。小島慶子との対談も収録。	2022.12	A1	4627	KADOKAWA
やわらかいフェミニズム シスターフッドは今	河野 貴代美 // 編著	私たちはみな違っている。想像力を働かせ、違いの中から支え合える関係を築いていきたい。フェミニズムとは何かを説明するとともに、さまざまな視点からフェミニズムやシスターフッドについて綴る。	2022.9	A2	4626	三一書房
侍女の物語	マーガレット・アトウッド // 著 斎藤 英治 // 訳	男性優位の独裁国家を描いた「侍女の物語」「誓願」が、なぜ今日、フェミニスト・プロテスト文化の象徴として耳目を集めるのか。現実世界の諸相を束ねて生み出された物語世界に、現在そして未来を生き抜くための希望を探る。	2001.1	J2	4625	早川書房
令和5年版男女共同参画白書	内閣府男女共同参画局	令和4年度における男女共同参画社会の形成の状況と政府が講じたその促進に関する施策について報告し、令和5年度において政府が講じようとする促進施策を明らかにする。	2023.6	N2	2570	内閣府 男女共同参画局
差別ってなんだろう？ 2 / 性別や性のあり方にかかわらず	好井 裕明 // 監修	セクシュアルマイノリティへの差別などを具体例や会話、イラストで説明します。差別的な言動に悩（なや）んだときの相談先ものっています。	2023.3	G4	4624	新日本出版社
災害とトイレ 緊急事態に備えた対応	日本トイレ協会 // 編	差別はなにをもたらすの？ 差別を許さない世界的取り組みって？ 障がいのない人が「ふつう」なの？ 差別について考えてみよう。2は、性別、ジェンダーをめぐる不平等とセクシュアルマイノリティへの差別などを取り上げる。	2022.7	M4	4623	柏書房
少女小説をジェンダーから読み返す 『若草物語』『秘密の花園』『赤毛のアン』が伝えたかったこと	木村 民子 // 著	「若草物語」「秘密の花園」「赤毛のアン」…。男性優位の時代の中で身を立て、いまなお多くの読者を魅了する名作を世に贈った3人の女性作家。その生涯を丹念に追い、彼女たちが作品にこめたメッセージを読み解く。	2023.4	J3	4622	亜紀書房
第二の性 2下 / 体験 / 下	S. ド・ボーヴォワール // 著 『第二の性』を原文で 読み直す会 // 訳	人は女に生まれるのではない、女になるのだ。1949年の刊行以来、世界に衝撃を与え続けるフェミニズムの画期的名著。様々な背景を生きる女性たちを跡づけながら、解放への道を模索する。	2023.4	A2	4621	河出書房新社
第二の性 2上 / 体験 / 上	S. ド・ボーヴォワール // 著 『第二の性』を原文で 読み直す会 // 訳	人は女に生まれるのではない、女になるのだ。1949年の刊行以来、世界に衝撃を与え続けるフェミニズムの画期的名著。さまざまな文学作品や歴史書、批評をひもときながら、男と女の違いを構造的に捉える試み。	2023.4	A2	4620	河出書房新社
第二の性 1 / 事実と神話	S. ド・ボーヴォワール // 著 『第二の性』を原文で 読み直す会 // 訳	人は女に生まれるのではない、女になるのだ。1949年の刊行以来、世界に衝撃を与え続けるフェミニズムの画期的名著。哲学、生物学、精神分析、文学など、ジャンルを横断しながら、男に支配されてきた女性の歴史を紐解く。	2023.3	A2	4619	河出書房新社

2023年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
「おふくろの味」幻想 誰が郷愁の味をつくったのか	湯澤 規子//著	誰もが一度は聞いたことがある「おふくろの味」とは何を指しているのか。なぜそれは時に女性たちをいらだたせるのか。社会と時代を丹念に読み解き、「おふくろの味」が誕生した経緯とその正体を探る。	2023.1	O1	4618	光文社
闘いの庭 咲く女 彼女がそこにいる理由	ジェーン・スー//著	「私なんて」はもう捨てよう。柴田理恵、君島十和子、一条ゆかりら、逆風をしたたかにかわしつづつ花を咲かせた13人の女性たちに、「自分らしさ」の見つけかた、生き方、仕事術を訊く。『週刊文春WOMAN』連載を書籍化。	2023.3	B2	4617	文藝春秋
1980年、女たちは「自分」を語りはじめた フェミニストカウンセリングが拓いた道	河野 貴代美//著	「ノー」を言う、自己主張をする、「自分」を伝えるためにもがいた1980年の女性たち。彼女たちが語り、聞いてもらえるカウンセリング・ルームの創始者が、エンパワーメントの歴史を綴る。上野千鶴子との対談も収録。	2023.3	E2	4616	幻冬舎
母親になって後悔してる	オルナ・ドーナト//著 鹿田 昌美//訳	もし時間を巻き戻せたら、再び母になることを選びますか？ この質問に「ノー」と答えた23人の女性にインタビュー。母親になることで経験する多様な感情を明らかにし、社会に背負わされる重荷に苦しむ切実な思いを伝える。	2022.3	F2	4615	新潮社
楊花の歌	青波杏//著	戦時下の中国・廈門で諜報活動をともし、惹かれ合うふたりの女性、リリーとヤンファ。だが、リリーに日本軍諜報員の暗殺に失敗した場合はヤンファを殺せと秘密裏に指令が出され…。『小説すばる』掲載を加筆修正し単行本化。	2023.2	J2	2569	集英社